

□ 教職員（学校経営に係る進捗状況点検）

項番	項目	肯定的回答	R6②	R6①
(1)-1	学級経営	意識	95.2%	83.3%
		取組	76.2%	47.8%
(1)-2	生徒会・委員会活動	意識	95.2%	100.0%
		取組	71.4%	78.3%
(1)-3	学校行事	意識	90.5%	95.8%
		取組	66.7%	78.3%
(1)-4	校外・宿泊行事	意識	95.2%	95.8%
		取組	76.2%	82.6%
(1)-5	道徳教育	意識	90.5%	87.5%
		取組	57.1%	52.2%
(1)-6	挨拶、言葉遣い、 身だしなみ	意識	100.0%	100.0%
		取組	71.4%	87.0%
(1)-7	地域活動の参加	意識	100.0%	91.7%
		取組	55.0%	60.9%

（回答数）教職員：23 〃：前回より－10%

学校運営協議会からの指摘事項等

○自己有用感が少しずつだが上がってきていることは評価したい。自己有用感を高めることは「学びに向かう力」や「人間性」の育成に欠かせないものである。学校だけでなく、保護者や地域も意識しておきたい。

○地域社会への貢献意識や地域社会への貢献態度についての保護者の評価が低いままである。教員や生徒の地域参加にスポットが当たりがちだが、保護者がどう関わるかによって変わってくるのではないだろうか。地域社会との関係が生徒に与える力についての発信とともに、学校運営協議会もPTAと連携して「保護者がどのように地域に関わっていくのか」ということは考えていかないといけない。

○浄瑠璃祭りも、生徒が地域の一人として学び、成長する大切な機会である。学校の経営計画に寄り添いながら、生徒にとってより良い学びの場となるよう、地域・保護者と協力して改善・発展させていきたい。

1 豊かな人間性と社会性の育成

指標) ①自己有用感80% ②小中合同活動への参加態度75%
③地域・社会への貢献意識85% ④多様性の尊重意識95%

重点) 1 日々の学校生活の自治的活動で育てる
1) 生徒の意見を反映した委員会・学校行事・学級経営の推進

2 地域から学び、地域の活動への参加で育てる
1) 小学校、地域行事・地域活動への参加で育てる
2) 学校運営や地域行事への参画による自己の生き方につながる学びの促進

主な取組と実施状況（●：管理職、○：教職員、◎：生徒、□：その他）

●自己申告当初申告で経営計画の重点事項に係る取組の申告を指示し面談で確認

◎体育大会の地域種目を生徒会が企画したが、雨天順延のため地域種目が中止となった（6/4）

◎体育大会のテント設営で35名以上の生徒がボランティアとして協力（6/4）

◎生徒会で「綱でつなごう絆ジャンプ（縦割り大縄跳び）」を企画し実施（7/8～7/11）

◎整備委員会（校内美化コンテスト）、給食委員会（給食キャンペーン）、図書委員会（Treasure Book Hunt）、保健委員会（啓発ポスター作成）を企画・実施

◎1年移動教室・3年修学旅行実行委員会で服装、生活のきまりを検討・実施

□浄瑠璃祭りボランティア生徒（11名）と学校運営協議会委員の懇談会（6/27）

成果と課題（○：成果、●：課題）

指標達成率 ①68.2/80＝85% ②57.3/75＝76% ③79.6/85＝93% ④93.0/95＝97%

○経営計画の周知が概ね図れている。生徒の意見や声を活動に反映させることが浸透してきた。

○生徒・保護者のアンケート結果でも、学級経営、学校運営、多様性の尊重意識の肯定的回答が多く、教職員の指導の成果がうかがえる。

○3校合同活動については、第3学年で児童・生徒交流を実施したこともあり増加が見られた。

○自己有用感が徐々に向上しており、今後も学校生活や地域活動等で活躍の場を広げていく。

●地域活動への参加では全教職員が意識しているが、多忙感や負担感から取組が低下している。

●生徒の地域活動への参加意識が前年度並みにとどまっている。態度においては50%に微増した。

改善の方向性

○生徒の意見を反映した委員会活動・学級活動が定着し、諸活動において生徒の声を活かした取組がさらに前進したが、保護者への周知の不足がうかがえ改善していく。

→小中一貫教育の取組として中3と小6の交流会を実施し、中学生が主体的に生き生きと活動していた。次年度の交流内容に見直しの意見もあり、生徒の声も交えて検討していく。

→地域社会への貢献態度については、微増ではあるが徐々に高まっており、浄瑠璃祭りや地域清掃などへの参加を促し、さらに高めていく。

□ 生徒・保護者・地域アンケート

項番	設問	肯定的回答	R6②	R6①
7	学級経営	生徒	90.1%	91.7%
		保護者	85.7%	86.3%
		地域	100.0%	55.6%
14	学校運営（生徒の声の反映）	生徒	88.8%	90.4%
		保護者	77.6%	80.4%
		地域	100.0%	77.8%
26	多様性の尊重意識	生徒	93.0%	94.5%
		保護者	89.7%	88.0%
		地域	100.0%	77.8%
27	自己有用感	生徒	68.2%	63.1%
		保護者	65.9%	69.2%
		地域	100.0%	77.8%
28	3校合同活動への参加態度	生徒	57.3%	49.6%
		保護者	35.5%	42.0%
		地域	100.0%	88.9%
29	地域連携	生徒	80.4%	78.2%
		保護者	42.1%	41.4%
		地域	100.0%	88.9%
30	地域社会への貢献意識	生徒	79.6%	76.9%
		保護者	45.6%	44.3%
		地域	66.7%	77.8%
31	地域社会への貢献態度	生徒	50.0%	48.6%
		保護者	23.8%	33.1%
		地域	100.0%	100.0%

（回答数）生徒：343 保護者：126 地域：3

□ 実績

<学校行事への保護者等の来校数>

○体育大会（6/4）520名、地域種目参加児童数（平日開催でなし）

○道徳授業地区公開講座①（7/2） 4名

○学校公開（6/30～7/4） 延べ44名

<地域活動への教職員・生徒の参加数>

○地域パトロール（6/5） 教職員 5名 地域19名
（8/30） 教職員 名 地域 名

○地域清掃（7/5） 教職員2名 生徒27名 地域23名

○学校活動支援者等 名 PTAサポーター 名

○浄瑠璃祭り（11/15） 生徒ボランティア 名・部活動 名

○ふるさと祭り（11/22） 生徒 名

□ 教職員（学校経営に係る進捗状況点検）

項番	項目	肯定的回答	R6②	R6①
(2)-1	授業づくり	意識	90.5%	－
		取組	76.2%	－
(2)-2	学習評価	意識	90.5%	95.8%
		取組	61.9%	82.6%
(2)-3	学習機会の確保	意識	95.2%	87.5%
		取組	57.1%	65.2%
(2)-4	学力調査結果の活用	意識	85.7%	91.7%
		取組	28.6%	30.4%
(2)-5	授業Ⅱ（松木スタイル）	意識	90.5%	－
		取組	47.6%	－
(2)-6	総合的な学習の時間	意識	90.5%	95.8%
		取組	61.9%	47.8%

：前回より－10%

□ 生徒の授業評価

	学習のねらい等	教え方	ICT機器の活用	Output学習の実施	Output型学習の効果	授業の進め方	授業時間	学習の評価	予習・復習
国語	96.8%	92.7%	46.9%	91.0%	82.3%	89.9%	96.3%	86.2%	57.2%
社会	89.2%	83.8%	64.1%	71.2%	70.4%	88.8%	94.4%	87.5%	65.9%
数学	85.6%	76.7%	51.0%	74.6%	74.2%	82.0%	94.6%	84.2%	77.3%
理科	98.2%	96.7%	95.3%	95.8%	89.9%	98.5%	96.7%	91.4%	73.9%
英語	88.3%	90.4%	80.4%	89.5%	84.0%	92.8%	95.5%	87.0%	69.9%
音楽	94.1%	97.1%	43.1%	62.4%	68.1%	97.9%	92.6%	91.7%	45.9%
美術	90.5%	85.0%	68.7%	65.6%	65.0%	87.5%	87.3%	85.0%	35.4%
保体	94.0%	91.8%	67.7%	75.0%	76.8%	93.1%	93.3%	86.7%	42.3%
技術	85.6%	76.3%	66.6%	66.5%	64.1%	88.8%	91.9%	84.6%	27.7%
家庭	97.6%	93.5%	88.2%	86.7%	79.2%	94.7%	94.7%	89.3%	36.9%

2 学力の向上

指標) ①学力調査（思考・判断・表現）正答率 国語80 数学70 ③話し合い・ペアワークの態度 80%
②学力調査（基礎）正答率が目標値以上の割合 国・数各90% ④話し合い・発表等の実施 90%

- 重点) 1 思考力・判断力・表現力を高める授業を行う
1) 話し合い・グループ活動など、生徒主体の学習活動の推進
2) プレゼンテーション力の質を高める発表活動の実施
2 社会や生活につながる学びを創造する
1) 教科間で内容や活動、教員がコラボした授業の実施
2) 異学年での学習や活動、生徒や教員がコラボした授業の実施

主な取組と実施状況（●：管理職、○：教職員、◎：生徒、□：その他）

- 当初申告で経営計画の重点事項に対する取組の申告を指示し、職員会議で授業観察の観点を提示
○評価・評定の各観点の比率（1：1：1）を見直し、保護者会にて説明会を実施（4/19）
○相談タイムを設定（美術）、生徒による解説の作成（数学）、ドリルアプリの活用（数学）
○単元ごとに授業アンケートを実施（理科）
○合唱曲音源の学習端末への掲載（音楽）、Google classroomを活用した課題作成（数学）
○データ分析や発表、プレゼンテーションの機会を設定（国語）
□漢字検定 名、英語検定① 名、数学検定 名の実施 計 名

成果と課題（○：成果、●：課題）

指標達成率 ①国語 1年67.3/80＝**84%** 2年70.7/80＝**88%** 3年72.2/80＝**90%**
①数学 1年47.7/70＝**68%** 2年45.3/70＝**64%** 3年57.7/70＝**82%**
②国語 1年81.3/90＝**90%** 2年85.3/90＝**94%** 3年75.0/90＝**83%**
②数学 1年74.6/90＝**82%** 2年81.7/90＝**90%** 3年71.2/90＝**79%**
③生徒 90.6/80＝**113%** ④教員76.2/90＝**84%** 実施頻度 1年**23%** 2年**45%** 3年**39%**

- 今年度、経営計画を大きく見直したが、教職員の意識化及び具体的な取組が進んでいる。
○Output型の学習に係る生徒の授業評価では、教科による結果のばらつきはあるものの概ね肯定的な回答が多い。また、Output型の学習の効果を感じている生徒も多い。
○生徒アンケート結果では、学力に係る重点項目に対して概ね90%を超える肯定的な回答を得ている。
●授業でのICT機器の活用や家庭学習としての予習・復習では、前年度とほぼ同じ結果であった。

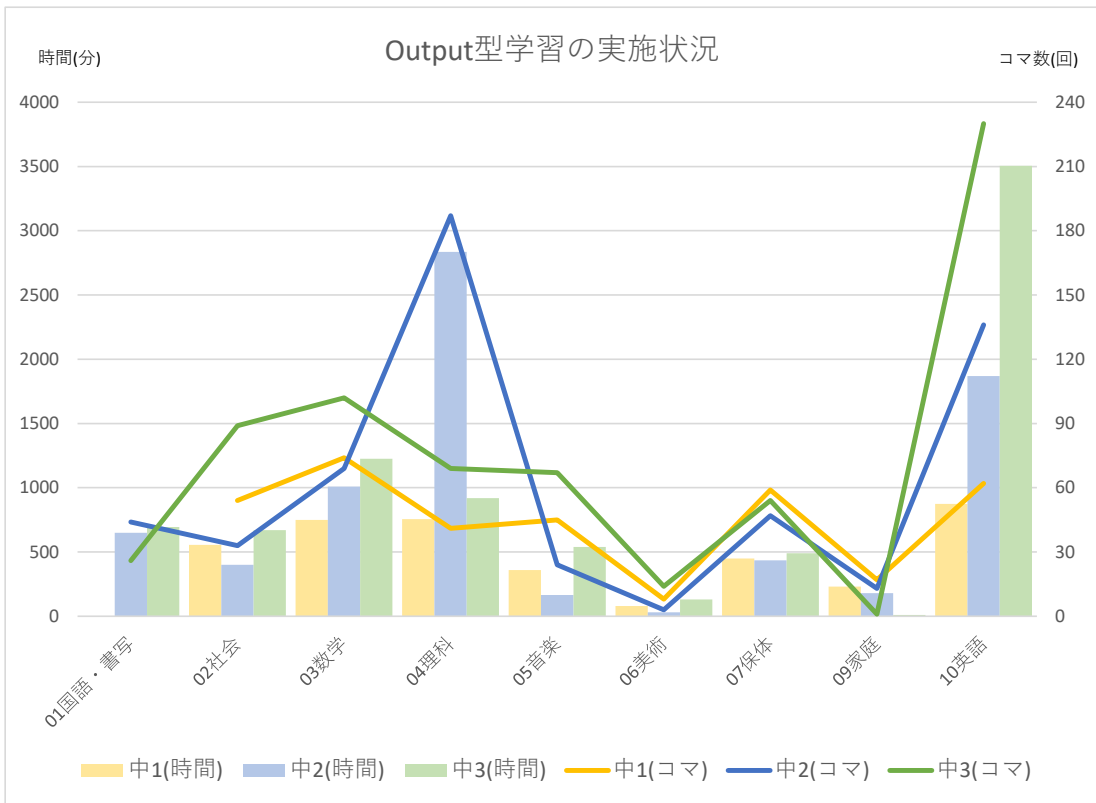
□ 生徒・保護者・地域アンケート

項番	設問	肯定的回答	R6②	R6①
8	学習指導(話し合い、ICT活用)	生徒	95.6%	94.8%
		保護者	92.8%	91.3%
		地域	66.7%	55.6%
9	適正な評価	生徒	86.8%	86.2%
		保護者	66.7%	77.4%
		地域	66.7%	44.4%
12	環境整備	生徒	94.4%	91.7%
		保護者	84.9%	85.2%
		地域	100.0%	77.8%
17	学習指導(補充学習)	生徒	86.3%	78.1%
		保護者	77.8%	76.1%
		地域	66.7%	87.5%
22	学習指導(分かりやすい授業)	生徒	94.4%	95.3%
		保護者	69.4%	70.4%
		地域	66.7%	55.6%
23	学習指導(思考力・判断力・表現力)	生徒	92.7%	92.6%
		保護者	71.4%	69.6%
		地域	66.7%	77.8%
24	学習指導(Output型の学習)	生徒	90.6%	－
		保護者	83.3%	－
		地域	未実施	－
25	学習指導(家庭学習)	生徒	75.1%	72.7%
		保護者	77.0%	67.5%
		地域	33.3%	66.7%

改善の方向性

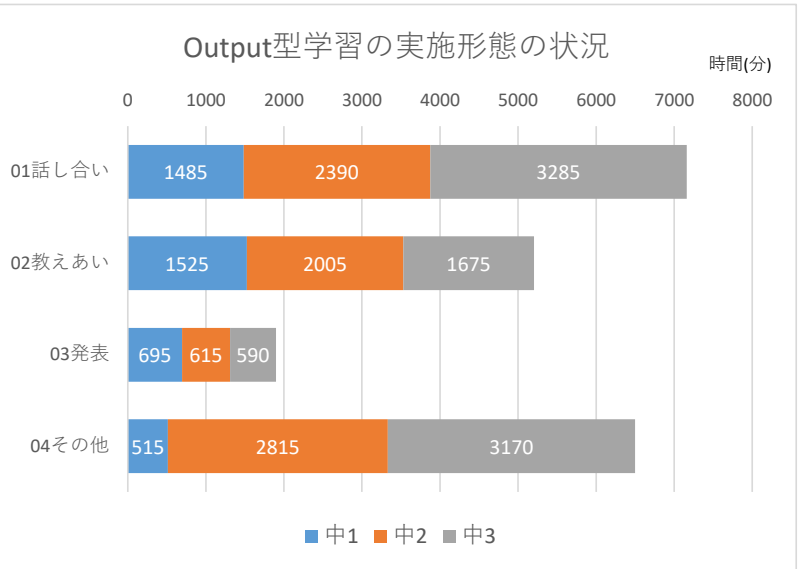
- 学力調査の基礎問題で目標値を超えた生徒の割合に係る指標が、概ね80%を超えており、基礎学力の定着している割合が高いと考えられる。
→保護者アンケートの学校に期待することの第1が基礎学力の定着であり、引き続き分かりやすい授業及び家庭学習を一体的に計画（授業Plus）を実施していく。
○全教科において、Output型の学習による授業づくりが行われている。
→1学期におけるOutput型の学習の実施が全教科で1600回を超え、授業や諸活動において日常的に生徒が話し合いや相談をしながら学習や活動を行うことが定着しており、今後もさらに推進していく。
○学習端末を活用してプレゼン能力を高める授業を引き続き模索していく。
→Output型の学習の一形態として、学習端末を活用して自己の意見や考えを表現することを通して、思考力・判断力・表現力を高めていく。

□ Output型の学習の実施状況



Output型学習の実施率（実施コマ数/総コマ数）

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語	計
中1	0%	28%	29%	21%	62%	8%	22%	0%	26%	33%	23%
中2	28%	29%	55%	86%	60%	8%	30%	0%	27%	62%	45%
中3	18%	26%	54%	30%	69%	24%	23%	0%	3%	82%	39%



学校運営協議会からの指摘事項等

○生徒が委員会や学校行事で主体的に活動し、地域行事にも積極的に関わる姿が見られる。Output型の教育も根付いてきているようで、ひとつひとつの経験が、生徒の成長を確かに支えていることが分かり、非常に心強い。

○教科によって、予習が有効であったり復習の方が必要であったりするだろうが、それを適切に見極めて、授業の中で家庭学習への繋がりを工夫して欲しい。

○学校公開の授業や生徒の授業評価を振り返ると、授業の質に教員ごとの特色や差が見られる。学校の多様性でありプラスの面でもあるが、限られた中学校生活の中で、生徒がより確かな学びを積み重ねられるよう、校内での共有を一層発展させて個々のレベルアップを図り、「チーム松木」として一定の水準を高め続ける仕組みづくりを期待している。

□ 学力調査の結果

(1)-1 市学力調査（令和 7 年度第 1 回）

	1 年		2 年		3 年	
	正答目標値以上	正答率	正答目標値以上	正答率	正答目標値以上	正答率
国語	81.3%	67.3	85.3%	70.7	75.0%	72.2
数学	74.6%	47.7	81.7%	45.3	71.2%	55.7

(1)-2 市学力調査（令和 6 年度第 2 回）

	1 年		2 年		3 年	
	正答目標値以上	正答率	正答目標値以上	正答率	正答目標値以上	正答率
国語	87.3%	73.9	94.4%	76.8		
数学	80.0%	60.3	75.6%	38.3		

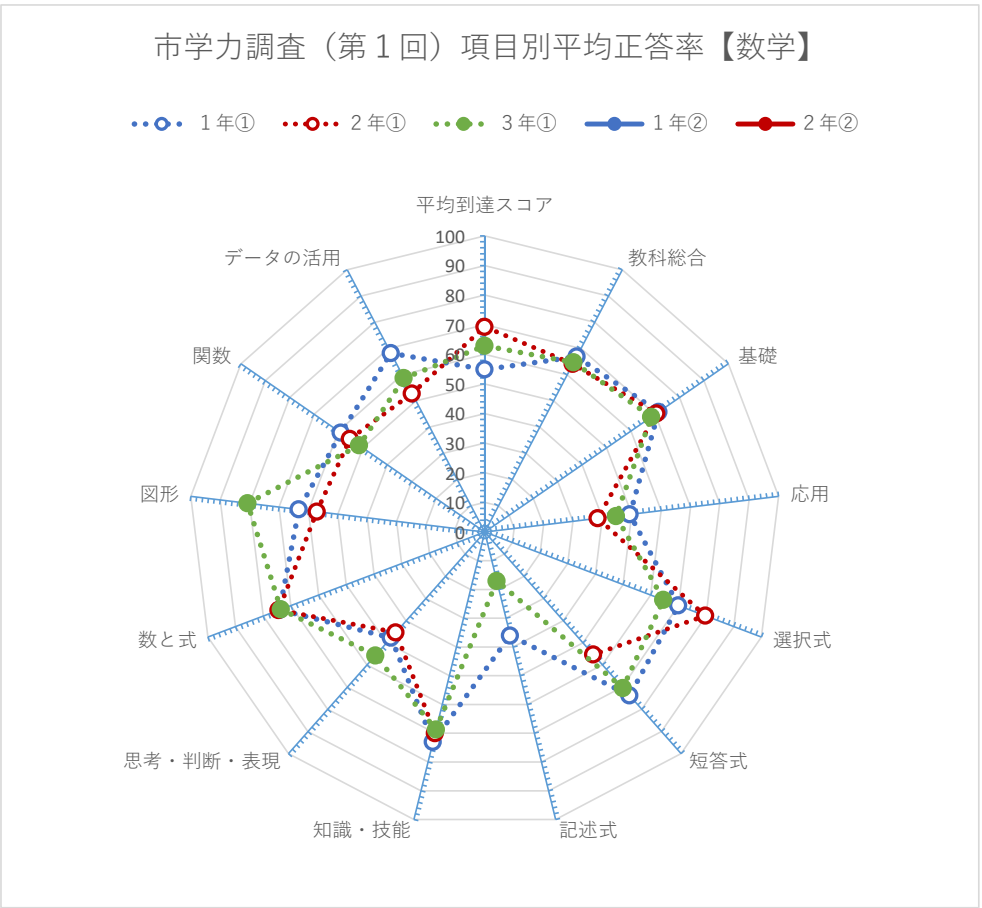
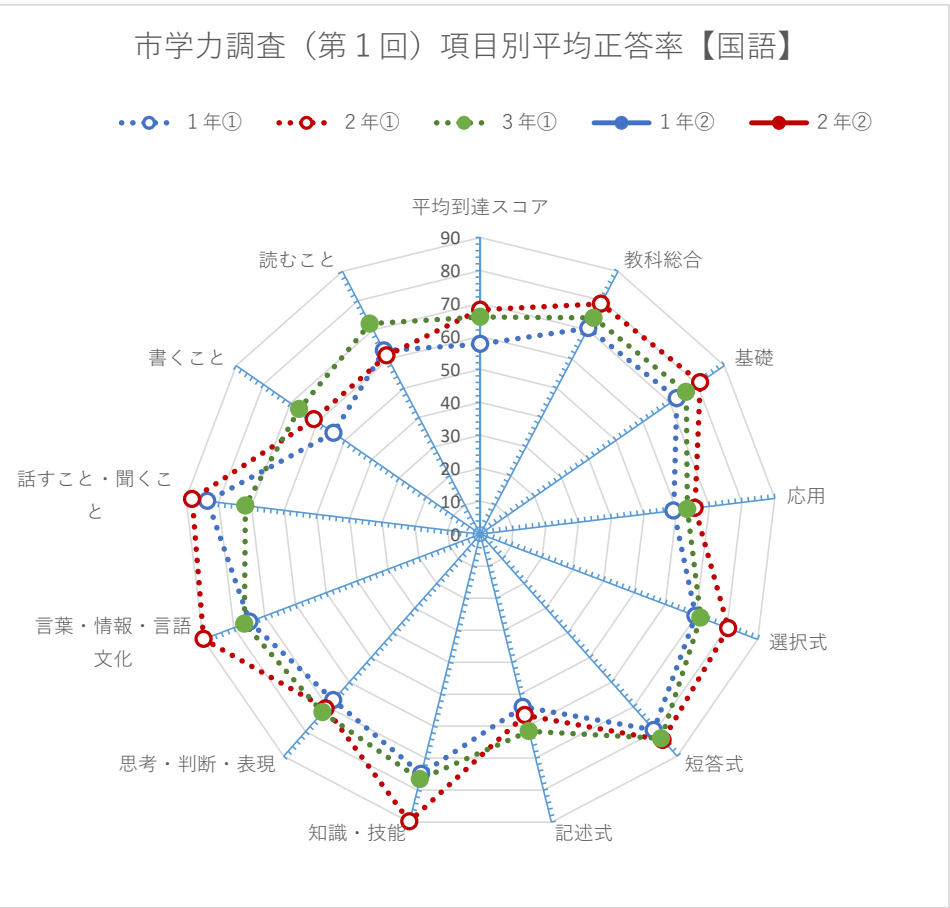
(2)-1 はちおうじっ子ミニマム（令和 7 年度第 1 回）

	1 年		2 年		3 年	
	正答80以上	正答率	正答80以上	正答率	正答80以上	正答率
国語	56.3%	78.9	74.8%	84.0	93.3%	88.4
数学	62.5%	79.5	73.0%	83.6	86.6%	89.9

(2)-2 はちおうじっ子ミニマム（令和 6 年度第 2 回）

	1 年		2 年		3 年	
	正答80以上	正答率	正答80以上	正答率	正答80以上	正答率
国語	82.9%	87.6	94.6%	92.8	92.5%	90.3
数学	84.0%	88.6	92.2%	91.8	91.0%	91.4

(2) 市学力調査（第 1 回）項目別平均正答率



□ 教職員（学校経営に係る進捗状況点検）

項番	項目	肯定的回答		R6②	R6①
(3)-1	相談機会の多様化	意識	95.2%	91.7%	87.0%
		取組	61.9%	41.7%	43.5%
(3)-2	外部機関との連携	意識	90.5%	87.5%	82.6%
		取組	47.6%	45.8%	43.5%
(3)-3	いじめ防止	意識	100.0%	95.8%	95.7%
		取組	61.9%	54.2%	52.2%
(3)-4	生徒指導	意識	100.0%	100.0%	100.0%
		取組	66.7%	66.7%	69.6%
(3)-5	Q-U検査の活用	意識	81.0%	91.7%	95.7%
		取組	28.6%	25.0%	39.1%
(3)-6	特別支援教育	意識	81.0%	70.8%	69.6%
		取組	42.9%	29.2%	21.7%
(3)-7	登校支援	意識	85.0%	—	—
		取組	50.0%	—	—
(3)-8	キャリア教育	意識	85.7%	91.7%	82.6%
		取組	47.6%	58.3%	39.1%
(3)-9	安全教育	意識	95.2%	95.8%	95.7%
		取組	42.9%	50.0%	47.8%

：前回より－10%

学校運営協議会からの指摘事項等

○特別支援教育を除き、非常に高い評価を得ている。
○特別支援教育については判断が難しいということがあるう。ただ、発達に課題がある生徒に対するだけでなく、学校生活をよりユニバーサルな環境にすることによって、どの生徒にとっても快適な学習・生活環境を作ることにつながるものである。今年度は研修も実施したところなので、さらに推進されることを期待する。

3 一人ひとりの可能性を拓く支援体制の充実

指標) ①学校満足度 ②相談機会への満足度 生徒90%・保護者85% ③生徒支援の実施率 100%

- 重点)
- 相談機会の多様化を進める
1) 学習、いじめや不登校等、生徒の課題に即した相談機会づくり
2) 個々の特性や課題に即した生徒支援の組織的な推進
 - 体験的な活動を生徒のキャリア形成につなげる
1) 体験活動のねらいにキャリア形成を位置付け系統的に実施
2) 社会とつながる学び及び生活に活かせる学びと体験活動の推進

主な取組と実施状況（●：管理職、○：教職員、◎：生徒、□：その他）

- 年度当初より不登校対応として「こもれび」教室を整備し、別室指導で成果をあげつつある
○アレルギー事故に係る初動対応のロールプレイングの実施（4/7）
○登校支援委員会（毎週金曜日1校時）、校内委員会（毎週火曜日2校時）に実施
○いじめ防止対策委員会（毎週金曜日6校時）に実施
○いじめ防止プログラムの実施（6/5）
○「こもれび」の通室・体験を通して居場所を提供
○定期考査前や教室外での学習（授業に出づらい）で自習スペースを活用

成果と課題（○：成果、●：課題）

指標達成率 生徒 ①88.3/90＝98% ②86.5/90＝96% 保護者 ①83.3/85＝98% ②73.8/85＝86%

- 経営計画への意識化は概ね図れており、指標達成率も概ね90%を超えている。
○生徒・保護者アンケートにおいても、一部の項目を除いて90%前後が肯定的な回答となっている。
○新しい項目である登校支援では、「こもれび」における別室指導が軌道に乗り一定の成果をあげつつある。
●特別支援教育への理解や取組に対する教職員及び生徒・保護者アンケートの肯定的な回答は向上したが満足できる結果とは言えない。

改善の方向性

- 昨年度の自習スペースの整備に続き、別室指導「こもれび」の開設により不登校生徒等の居場所づくりがさらに進み、多様な登校スタイルへの対応が一步前進した。
→不登校問題と特別支援教育を関連づけて対応する体制が定着し、校内委員会と登校支援委員会が機能し対応方針の検討及び具体的な取組を行っている。
→一方で、学校規模の縮小に伴う学校運営のスケールダウンの観点から校内委員会と登校支援委員会の統合を検討する必要がある。
→特別支援教育の充実に向けて、生徒支援担当部署を核として組織的に推進していく。
○安全で過ごしやすい生活環境の整備を進めていく。
→自由服登校を本格的に導入し生徒・保護者から肯定的な意見をもらっており、今後も、生活のきまりや教室環境について生徒の声を聞きながらより良い環境づくりを継続的にやっていく。

□ 生徒・保護者・地域アンケート

項番	設問	肯定的回答		R6②	R6①
4	安全指導	生徒	94.7%	95.6%	94.7%
		保護者	94.4%	98.3%	95.3%
		地域	66.7%	88.9%	66.7%
5	人権教育	生徒	91.8%	91.2%	92.0%
		保護者	88.1%	93.9%	88.2%
		地域	66.7%	100.0%	66.7%
6	いじめ防止への対応	生徒	90.1%	89.3%	89.5%
		保護者	81.6%	76.5%	75.1%
		地域	66.7%	88.9%	55.6%
10	生活指導	生徒	94.1%	93.9%	95.1%
		保護者	92.1%	94.7%	92.3%
		地域	100.0%	100.0%	77.8%
11	キャリア教育	生徒	89.7%	88.5%	87.6%
		保護者	98.4%	96.5%	94.6%
		地域	100.0%	88.9%	77.8%
13	特別支援教育	生徒	76.1%	66.6%	68.0%
		保護者	45.6%	40.0%	36.7%
		地域	66.7%	77.8%	77.8%
18	生活指導(生活指導の取組)	生徒	93.9%	94.0%	93.1%
		保護者	86.4%	93.0%	90.5%
		地域	100.0%	100.0%	66.7%
20	相談機会の満足度	生徒	86.5%	82.8%	84.3%
		保護者	73.8%	80.7%	78.1%
		地域	100.0%	66.7%	44.4%
32	学校満足度	生徒	88.3%	91.4%	91.4%
		保護者	83.3%	85.2%	85.2%
		地域	100.0%	88.9%	66.7%

学校運営協議会からの指摘事項等

○別室指導「こもれび」が開設され、生徒の選択肢が増えたことを評価したい。安定して定着するにはまだ時間がかかるだろうが、安心できる場所の一つとなることを願っている。放課後カフェないろや職員室前の自習スペースに加えて、試験前に臨時に教室を解放して自習室とするなど、生徒のニーズに対応した居場所が増えている。

□ 教職員（学校経営に係る進捗状況点検）

項番	項目	肯定的回答	R6②	R6①
(4)-1	小中一貫教育	意識	90.5%	91.7%
		取組	47.6%	43.5%
(4)-2	教育活動の一体的な推進	意識	76.2%	60.9%
		取組	19.0%	13.0%

：前回より－10%

5 その他

□ 教職員（学校経営に係る進捗状況点検）

項番	項目	肯定的回答	R6②	R6①
(5)-1	開かれた学校づくり	意識	85.7%	75.0%
		取組	23.8%	26.1%
(5)-2	地域運営学校としての学校運営の充実	意識	76.2%	70.8%
		取組	9.5%	13.0%
(5)-3	PTA・青少対との連携・協力	意識	85.7%	79.2%
		取組	28.6%	45.8%
(5)-4	部活動の充実	意識	85.7%	91.7%
		取組	52.4%	58.3%
(5)-5	服務事故防止	意識	100.0%	91.7%
		取組	61.9%	54.2%
(5)-6	働き方改革の推進	意識	85.7%	70.8%
		取組	42.9%	41.7%
(5)-7	学校運営のスケールダウン	意識	90.5%	－
		取組	38.1%	－
(5)-8	学校運営の世代交代	意識	85.7%	－
		取組	38.1%	－
(5)-9	学校予算（公・私費）の適正な執行	意識	65.0%	－
		取組	40.0%	－

：前回より－10%

4 中学校区3校（松木中、松木小、長池小）の教育活動の一体的な推進

中期重点) 1 中学校区3校の教職員及び児童・生徒の協働活動（授業等）の実施

- ① 中学校区の小・中の合同活動の推進
- ② 中学校区の小学校の活動への中学生のボランティア参加の促進
- ③ 学校・地域のネットワークを活かした相談・支援の充実
- ④ 小学生の部活動参加や小・中学生の協働学習の導入



主な取組と実施状況（●：管理職、○：教職員、◎：生徒、□：その他）

- 3校合同引き渡し訓練（5/1）に実施
- ◎長池小運動会（5/24）に1～3年の生徒30名以上が運営ボランティアで参加
- ◎はちおうじっ子サミットに向けて児童会と生徒会で活動（7/30）
- ◎小・中合同あいさつ運動（8/28～29）に生徒が延べで226名参加
- 学校HPを活用した学校情報の発信（7月末現在アクセス数142,920回 前年度：約86,689回）
- 放課後カフェなないろの実施（5/14 68名）（6/30 63名）
- 月例でMy定時退庁日の設定、超過勤務の状況を集計し助言



成果と課題（○：成果、●：課題）

- 生徒・保護者アンケートでは、一部の設問を除いて80%を超える肯定的な回答を得た。
- 学校運営のスケールダウンに向けて業務量調査を実施し、課題の分析を行っている。
- 地域運営学校としての学校運営での取組については、教育活動の具体的な場面を想定した取組を検討するとともに、引き続き啓発をしていく必要がある。
- PTA・青少対との連携・協力においても、活動日時（週休日や勤務時間外）や教職員の業務の負担感から具体的な行動につながらないと思われる。



改善の方向性

- 学校運営のスケールダウンに向けて課題を整理し、具体的な改善策を検討していく。
- 検討期間は2年間であるが、令和8年度の教育計画の策定にあっても改善策を実行していく。
- 部活動改革ロードマップを踏まえて部活動再編を進める。
- 近隣の学校と連携し、生徒のニーズを踏まえた部活動再編を進める。
- 保護者の学校に期待することの回答で、保護者のニーズを把握することができた。
- 今後も保護者のニーズを継続的に把握し、学校改善に活かしていく。

学校運営協議会からの指摘事項等

○学校規模が小さくなることを前提に、今年は若手に大きな役割をお願いし頑張っていた。ただ、負担が偏っていることも事実である。この先の学校のスケールダウンを見据えて、どう世代交代を進めて組織を作っていくのか、その上で働き方改革をどのように進めるのか、大きな課題である。

□ 生徒・保護者・地域アンケート

項番	設問	肯定的回答	R6②	R6①
2	特色ある学校づくり	生徒	88.0%	88.2%
		保護者	99.2%	97.4%
		地域	100.0%	100.0%
3	小中一貫教育	生徒	74.6%	77.5%
		保護者	84.9%	87.8%
		地域	66.7%	100.0%
28	3校合同活動への参加態度（再掲）	生徒	57.3%	49.6%
		保護者	35.5%	41.7%
		地域	100.0%	88.9%

□ 生徒・保護者・地域アンケート

項番	設問	肯定的回答	R6②	R6①
19	部活動指導	生徒	88.0%	83.6%
		保護者	68.0%	69.3%
		地域	33.3%	77.8%
21	情報発信	生徒	81.3%	79.9%
		保護者	95.2%	95.6%
		地域	100.0%	88.9%
1	学校経営方針の周知	生徒	65.5%	68.6%
		保護者	81.0%	87.0%
		地域	100.0%	77.8%
15	学校運営(教職員の協力体制)	生徒	91.8%	89.3%
		保護者	69.0%	69.6%
		地域	100.0%	66.7%
16	学校運営(教職員の熱心さ)	生徒	94.4%	93.4%
		保護者	84.0%	83.3%
		地域	100.0%	77.8%

学校に期待すること（保護者アンケート）

